

### 訃報（笠原 彰名誉会員のご逝去について）

日本気象学会理事会

日本気象学会名誉会員の笠原 彰先生におかれましては、2022年3月29日に95歳でご逝去されました。

笠原先生は、積雲対流、台風の発生と移動といった小・中規模な現象から、大気大循環といった全球規模の運動の解明にわたり数値予報、気候モデルの開発、および日本の気象学の向上と国際化に寄与されました。

笠原先生は1961年に「台風およびハリケーンの研究」により日本気象学会賞を受賞され、1963年にNCAR（国立大気科学研究センター）に移られた後、NCARの初期の大気大循環モデルの開発に精力的に取り組まれました。そしてこのモデルを用いて、大規模山岳が

大気に与える影響や成層圏の循環などの研究をされるとともに、第1回GARP全球実験（FGGE）の観測システムの設計にも重要な貢献をされました。また、1996年には「数値予報並びに大気大循環に関する研究」により日本気象学会藤原賞を受賞されました。さらに、1998年には「数値予報及び大気大循環の研究に於ける顕著な功績」により日本気象学会名誉会員に推挙されました。

日本気象学会理事会は、謹んで会員の皆様にお知らせするとともに、先生のご功績を偲び心からご冥福をお祈り申し上げます。